



解説シリーズ・巻頭言

日本鉄鋼業における独自技術の開発と現在

日本鉄鋼業における独自技術の開発と現在

Innovative Technologies in Japanese Iron and Steel Industry

田中龍彦

会報委員会 委員長

Tatsuhiko Tanaka

今月号より、解説シリーズとして「日本鉄鋼業における独自技術の開発と現在」を企画し、連載を開始致します。

このシリーズは、日本鉄鋼業のすぐれた独自技術の事例を解説し、日本の鉄鋼技術の素晴らしさをアピールし、若手技術者、学生らにやる気をおこさせるきっかけのひとつになることを狙い、日本鉄鋼協会生産技術部門の各技術部会に企画をお願いしたものです。各技術部会の多大なご協力により、14部会による19記事の連載を予定しております。

本シリーズで対象とした技術は、

- 1) 日本発のテクノロジー (オリジナルは海外にあっても日本で開花したものを含む)
- 2) 改良技術であっても、広く業界に普及しスタンダード技術になっているもの
- 3) 現在も実際に使われているプロセス・設備技術であること
- 4) 材料・製品に関する独自技術は除く

とし、それらに該当する技術を解説していただきました。執筆者は、原則として実際の開発者、もしくはその近くにいた現役の技術者をお願いしました。

ご多忙中、企画いただいた各技術部会の部会長、幹事の方々、執筆いただいた著者各位に深く感謝申し上げます。

(2004年6月15日受付)